

障害者支援施設 大方誠心園
令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年2月16日（月）10：00～12：00

場所：大方誠心園 会議室

進行：副施設長 記録：課長

参加者：利用者代表：1名(Ⅲ寮)・保護者代表：1名(Ⅱ寮利用者の母親)

地域代表：鞭地区区長

見識者：黒潮町社会福祉協議会事務次長（代理出席）

施設代表：施設長・副施設長・1課課長・2課課長

1 開会あいさつ

施設長：今年度より「地域連携推進会議」を開催する事となりました。より良い施設運営を行っていく為のご意見をお聞かせ下さい。

2 出席者自己紹介

上記参加者より自己紹介をしていただく。

3 地域連携推進会議について（資料1参照）

施設長より、「資料1：地域連携推進会議の手引き(抜粋)」を参照して説明する。

4 施設見学（資料「施設概要」参照）

施設内や活動の様子を見ていただき、両課長より説明する。

5 大方誠心園について（資料2「令和7年度事業計画」参照）

施設長より、「資料2：令和7年度事業計画」を参照して説明する。

6 質疑応答

・施設での生活や楽しみはありますか？（利用者に対して）

＊連休には家に帰り、手伝いを行っている。施設は賑やかでいい。音楽活動やりハ

ビリ活動に参加している。家庭よりも身体を動かす場面が多くていい。

- ・食堂で活動を行っている様子がよくて、とても印象的であった。施設内を見させてもらう事で、中での様子が理解できた。職員の苦勞が理解できた。
 - ・小学校との交流による繋がりが出来ていて良かった。児童の、弱者に対する思いやりの心が育つ場にもなっていくと思われる。
 - ・利用者が幸せになるには、職員が幸せになる事が大切である。そうでなければ、利用者に幸せが伝わらない。
 - ・利用者への支援の難しさがあり、職員は大変であると思う。しかし、利用者の喜ぶ姿を見て、支援への糧にしてほしい。
 - ・家族の送り迎えでよく来るが、施設内を見る事はなかった。部屋の中に柱の角があり、自傷行為での怪我が心配される。音楽での活動は楽しそうで良かった。
 - ・職員のリフレッシュは出来ているか、職員がお互いに言い合える関係性であるか、現場の声を聴きとれているか？（施設に対して）
- * 福利厚生については配慮して行っている。また、職員からの要望も必要に応じて聞き入れている。
- ・施設内を見学させてもらい、職員がみんな協力してやっている事が実感できた。
 - ・地域と顔が見える関係性が必要と思い。今後も続けてもらいたい。その為に必要な協力は行っていく。

7 閉会あいさつ

施設長より：皆さまからいただいたご意見等をもとに、これからの支援に活かしていきます。